令和4年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和4年8月17日（水曜日）			開会	9:58	会議場所		別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	11:08					
委員の出欠	1 番	宮越 正人	欠席	5 番	外山 浩司	出席	9 番	今西 和雄	出席	
	11 番	瀧川 榮子	出席	15 番	戸田 憲悦	出席				
出席説明員	福祉部長		福祉部次長		福祉部次長兼保健センター長		福祉部次長兼福祉課長			
	今野 健一	出席	小湊 昌博	欠席	入倉 伸顕	出席	干場みゆき	出席		
	介護支援課長		町民課長		老人保健施設事務長		訪問看護ステーション所長			
	高橋 勇樹	出席	皆川 学	出席	渡辺 久利	欠席	堀 留美	欠席		
	地域包括支援センター長		居宅介護支援事業所長		町民課主幹		保健課主幹			
	九里 富恵	欠席	大道 詳子	欠席	西田 和弘	出席	齊藤 晴美	欠席		
	保健課主幹		母子健康センター師長		福祉課主査		福祉課主査			
	畠澤 みどり	欠席	根本 博美	欠席	澤田 憲一	欠席	大森 晴海	出席		
	介護支援課主査		介護支援課主査		地域包括支援センター主査		町民課主査			
	岩口 真紀子	欠席	松本 静香	欠席	井川 仁	欠席	奈良 司	欠席		
	町民課主査		町民課主査		保健課主査		保健課主査			
	竹本 誠	欠席	木幡 友哉	欠席	阿部 妃江子	欠席	能登 麻奈美	欠席		
	保健課主査		母子健康センター主査		老人保健施設主査					
	佐伯 祐司	欠席	成瀬 広子	欠席	中田 幸規	欠席				
	別海 病院	病院事務長		病院事務課長		病院事務課長		病院事務課主幹		
		三戸 俊人	出席	小川 信明	出席	石戸谷友絵	欠席	大森 圭介	出席	
	委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名		
	事務局職員	事務局長	干場 富夫	主任	小野 絵里		合計	2名		
	傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

令和4年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 9番 今西	9:58 開会
	出席委員4名（宮越委員欠席）、委員外1名、会期1日
委員長 9番 今西	挨拶
	【病院所管事務調査】
病院事務長 三戸	挨拶
委員長 9番 今西	議事1 所管事務調査について
	(1)新型コロナワクチン接種について
病院事務長 三戸	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況として、5月後半から感染者が減少し、6月には一時的に0名になった。全国的にも感染者が減少したことに伴い、道において7月から病床ステージを2から1へ引き下げ、本院においても、7月4日から休止していた分娩を再開した。再開後、8月10日までに2件の出産があった。しかし、7月以降、全国的に感染者が増加し、本町でも急激に感染者が拡大した。この感染拡大を受けて、道でも8月から再度病床ステージを2へ引き上げることとなり、今後分娩予定の方の出産を行った後、8月22日から再度分娩を休止し、コロナ病床を7床にする予定である。 ・特徴として、これまでよりさらに感染力が強くなっているように感じる。これまでは家庭内等での感染の広がり方が5人中3人が陽性だったものが5人中5人が陽性になり、また、最終接触から3-4日で発症する傾向だったものが、正確な数字ではないが、接触から2日目で陽性となる方も見られる。年齢層もこれまでは保育園、学校、特定の職場の感染から広まる傾向だったが、現在は幼児から高齢者まで幅広く広がっている。しかし、重症化する患者はほぼいないというのが現状。 ・7月以降の陽性者のうち、4名が入院、他病院へ3名が入院となっている。無症状者が多く、ほとんどが自宅療養となっている。この無症状者の多さが感染拡大の要因になっている可能性がある。 ・年明け1月以降、8月16日までで延べ915名（町外者含む）の感染者を確認している。町のホームページでも公表しているが、昨日8月16日現在の陽性者は181名となっている。 ・5月に院内クラスターが収束して以降、クラスターには至っていないものの、7月には医師1名、8月に入ってから職員5名の感染を確認している。また、本日も職員1名の感染が確認された。 ・夏休みとお盆が重なり、1年の中で活動が一番活発な時期であり、そのことが感染者増加の一因とも言える。明日以降、各学校でも新学期が始まるため、今週末、来週にかけては感染が拡大する可能性があると考えている。 ・別海病院においても引き続き感染者への治療と感染拡大の抑制に努め、保健所や関係機関と連携しながら対応していく。 ・職員の感染によるスタッフの不足、またコロナ収束のめどが立たないなど、職員は身体的・精神的に疲弊し、かなり厳しい状況が続いている。
委員長 9番 今西	質疑
副委員長 5番 外山	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の家族が陽性となった場合、どのような経過で職場へ復帰しているのか。
病院事務長 三戸	<ul style="list-style-type: none"> ・陰性が確認されれば、毎日検査をしながら出勤というも理論上は可能ではあるが、5月にクラスターがあったこともあり、安全策という部分を考慮し、陽性者は10日間、濃厚接触者は7日間での復帰としている。
委員長 9番 今西	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、通常診療、入院・手術を控えながらコロナ対応をしていくとの話があったが、継続的に実施しているのか。また、それを町民へ周知しているのか。

令和4年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

病院事務長	三戸	<p>・今は特に制限は行っていない。ただ、このような状況なので、薬の処方のみの方は電話による処方について周知してきている。外来診療は制限をかけずにやってきているが、入院病棟内で職員から陽性者が出た場合は、入院患者・病棟に従事している職員の陰性が確認されるまで新規の入院をある程度抑制するなど、適宜対応している。</p> <p>病院 10:16 終了 休憩 (西原議長 退席)</p> <p>10:22 再開 挨拶 【福祉部所管事務調査】</p> <p>福祉部長 今野 挨拶</p> <p>議事1 所管事務調査について (1)新型コロナワクチン接種について</p> <p>・資料により説明 接種状況について(8月7日現在) ※カッコ内は前回報告値との比較 1回目接種 12,536人 92.6% (+ 38人 +0.3%) 2回目接種 12,487人 92.2% (+ 40人 +0.3%) 3回目接種 10,497人 77.5% (+160人 +1.2%) 4回目接種 65歳以上 1,539人 35.2% 60～64歳 105人 10.1% 59歳以下 193人 (基礎疾患を有する方、医療従事者等)</p> <p>【小児接種】 1回目接種 453人 52.0% (+ 32人 +3.7%) 2回目接種 425人 48.8% (+ 77人 +8.8%)</p> <p>質疑</p> <p>・もう少しで新学期が始まるが、教職員は4回目接種の対象となっているのか。</p> <p>・今回、接種の対象として追加されたのは先ほど説明したとおり、医療従事者、高齢者施設等の従事者となっている。国から示された内容では教職員は追加の対象となっていない。</p> <p>・1学期の終わりから急激に感染が広まったが、それにより子どものワクチン接種希望者の増加はあったか。</p> <p>・本町の小児ワクチンの接種率自体は、全国と比較すると高い状況となっている。全国での8月12日時点の接種率は、1回目が20.7%、2回目が18.6%となっており、本町では先ほど説明したとおりの接種率で増加もしている。感染拡大により接種の申込が増加したのかということについては確認はとれていない。今後はまだ確定ではないが、小児接種について、国から努力義務になるというような通知も来ているので、それらの状況を注視していきたい。</p> <p>・今回で接種も4回目ということで、当初と比較するとスムーズに進められていると理解しているが、その中でも接種を行う際の課題などはあるか。</p> <p>・3-4回目接種に当たり、コールセンターの人数を増やし、申込者の待ち時間を減らす工夫などしてきた。初回接種以降、4回目になると仕組み自体も複雑になってきている現状がある。ワクチンの種類や接種回数により接種間隔が異なるので、誤りのないようシステムや接種従事者による確認作業を徹底し、今後も万全の体制で進めていきたい。</p> <p>・4回目接種の基礎疾患を有する方の接種率の記載がないが、これは接種をしていないということか。</p>
委員長	9番 今西	
福祉部長	今野	
保健センター長	入倉	
委員長	9番 今西	
委員	11番 瀧川	
保健センター長	入倉	
副委員長	5番 外山	
保健センター長	入倉	
委員長	9番 今西	
保健センター長	入倉	
委員	11番 瀧川	

令和4年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

保健センター長	入倉	<ul style="list-style-type: none"> ・4回目の接種対象者として全体の人数を確定できるのが60歳以上となっており、基礎疾患を有する方には申込があった段階で接種券を発送している状況であるため、元々母数として基礎疾患を有する方がどのくらいいるのか町で把握していないので、接種率を出すことはできるが、表記しないで、接種率が求めたとしても基礎疾患を有する方に対する接種率かどうかというのが不明になることから、資料では記載していない。 ・町内の基礎疾患を有する方について、町として一部は把握しているものの、全体の人数は確実に把握できないので、分母となる数値がないということで率に変換できないという状況になっている。18-60歳未満の基礎疾患を有する方には、自己申告で申込をしていただいて接種券を発送し、接種を受けていただく体制をとっているので、町では総体の人数が押さえられないということから接種率を出すことができない状況となり、人数のみの記載とさせていただいている。 ・町で配布している検査キットについて、7月下旬から8月の感染拡大で在庫が品薄と聞いたが、現在の状況は。 ・委員おっしゃられたとおり、一時在庫が少なくなり、必要に応じた申請をお願いしていたところだったが、8月9日に5000キット用意できたので、現在については十分な在庫を確保できている状況。 ・他町では福祉施設や高齢者施設に対して、役場から箱単位で検査キットが配布され、1週間に1回程度の検査を実施しているところもあると聞いている。別海町としてはそのようなことはされているのか。 ・本町としては、委員がおっしゃられたような形での配布は行っていないが、各施設と連絡調整をとり、必要に応じて渡す体制をとっている。先日もあったが、施設で濃厚接触者や感染に不安がある方が出た場合は、検査キットを渡している。 <p>(2)別海町国民健康保険の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料により説明 <p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域化での運営となって数年経過する。広域化へ移行したのは財政面でのものが大きな要因だったかと思うが、広域化したことによる本町のメリット・デメリットは。 ・平成30年度から広域化されたところだが、本町としてのメリットは特にないという状況だと思う。理由として、本町は所得が高く、医療費が安いので、広域化することにより本町がほかの町を支える形となっていることが考えられる。また、医療費が安いので本町のみ健康保険で運営するとすれば、それほど保険料を高くなくても国保会計は賄えてきた。広域化で本町も道全体を支える一員となるので、そのことで応分の負担が発生している。全道的にも本町の保険料は高い方ではないことがわかっており、特に後期・介護分が安いのでその部分を改善しなければ、今後資金が枯渇し、会計が成り立たなくなってくる。 ・資料で具体的な変更事例が挙げられているが、40歳代夫婦と未成年の子ども2人世帯で保険税が約10万円アップするということで、町民の方たちに理解してもらう手立ては考えているか。 ・変更事例については、あくまで道の標準税率を使用した場合の試算となっている。現在2億円近くの基金があるので、それを活用し、なるべく税額を圧縮した中で、改正を視野に進めていかなくてはいけないのかなと考えている。基金が枯渇してしまえば、標準税率に即座に合わせないと会計自体が成り立たなくなるので、そうなる前に激変緩和をしながら進めていくことを考えている。 ・このままいくと、令和6年度には基金が枯渇する状況だが、基金が0円となった場合、一律で標準税率により保険税額が算定され、変更事例のとりの増額になってしまうとい
福祉部長	今野	
副委員長	5番 外山	
介護支援課長	高橋	
委員	11番 瀧川	
介護支援課長	高橋	
委員長	9番 今西	
町民課主幹	西田	
委員長	9番 今西	
町民課長	皆川	
副委員長	5番 外山	
町民課長	皆川	
副委員長	5番 外山	

令和4年第7回福祉医療常任委員会 要点記録

		<p>うことか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状、本町の税込と道へ納める負担金の差が約9,600万円あるので、本町の税込だけでは賅えておらず、基金を取り崩して負担金を納めている。来年・再来年同じような状況が続けば、基金が0円となり約1億円程度の歳入不足が生じるので、その不足額をいきなり被保険者の皆さんに負担していただくのか、現在約2億円ある基金を活用して激変緩和しながら負担していただくのか、どちらかの選択にはなるかと思う。
町民課長	皆川	
委員長	9番 今西	(3)病児保育について
福祉課主査	大森	・資料により説明
委員長	9番 今西	質疑
委員	11番 瀧川	・事業類型の中の送迎対応で、保育中に体調不良となった児童を送迎すると記載があるが、保護者が関わらなくても保育士あるいは看護師が対応してくれるという理解でいいのか。
福祉課主査	大森	・利用に当たり、まず利用登録をしてもらい、保育園から保護者に体調不良の連絡を入れるが、保護者が仕事等の都合によりすぐに対応できない場合、病児保育施設に送迎の依頼をしてもらい、その施設で送迎対応をすることになる。
委員長	9番 今西	・事業のスタートは具体的にいつからになるのか。
福祉部次長	干場	・手上げしている事業者との協議の中で、施設の工事完了後、順次手続きをしていくことになっているので、現時点で何月といった具体的な時期をお示しすることはできない。
委員	11番 瀧川	・利用登録が必要とのことだが、事前登録をしなくても緊急で利用することは可能か。
福祉課主査	大森	・原則事前登録制となっているが、緊急時は利用と同時に登録手続きを行うことで利用できる。
委員長	9番 今西	その他
福祉部長	今野	①西春別駅前歯科診療所の再開について
		<p>・広報8月号でもお知らせしていたが、令和2年8月から休診中の西春別駅前歯科診療所について、歯科医師の川股亮太氏が赴任され、9月4日から再開することとなった。このたび、神奈川歯科大学を退職され、本町へ赴任される確約が取れたため、8月1日付で本町と川股医師の間で歯科診療所の運営に関する覚書を取り交わしている。</p> <p>診療再開に当たり、初期の設備投資として、診療用ユニット、診察台2台を購入・設置することとなっているが、高額な医療機器であることから、町として初期投資の負担軽減に係る支援を現在検討している。また、尾岱沼歯科診療所の診療ユニットも老朽化しているため、併せて支援すべきか、内部で検討している段階である。支援が決まった段階で、早い時期に予算を計上したいと考えているので、御理解願いたい。</p>
委員長	9番 今西	閉会挨拶
		11:08 閉会